

クリーニングの手順

第一の工程

A液 フェントンの塗り方

～プロ並みに仕上げる方法～

1. 作業しやすい服装に着替える。
2. 窓は開け、風通しを良くする。
3. 家具や邪魔なものは片付ける。
4. 汚れないようにビニールなどで覆う。
5. クリーニングは日中、明るい時に行なう。



①洗剤で濡れないよう床にビニールシートを敷く。



②ナイロンブラシでホコリを落とす。(高い所から下へ)



※手近な所や細かい所は短くして使うと便利。



③A液をオケに入れる。
※B液、その他の溶液と混合しないようにする。



④シャンプーにA液を染み込ませる。※泡は出ません。



⑤シャンプーを縦にして固く絞る。(液ダレしなくなるまでしっかりと)



<注意！>
移動の時はタオルを当てる(液ダレをふせぐため)



<ポイント>
伸縮ポールを使うと塗やすい。
<ポイント>
天井に塗る際は下から全体を見上げながら塗り残しがないようにする。

⑥シャンプーに浸したA液をビニールクロス全体に縦・横・斜めにゴシゴシこすりつけてしっかり塗り込む。
汚れが目につく箇所は白パッドにA液をつけながらゴシゴシこすり洗いをする。



<ポイント>
天井のスミの汚れは
白パッドでこすり落とす。

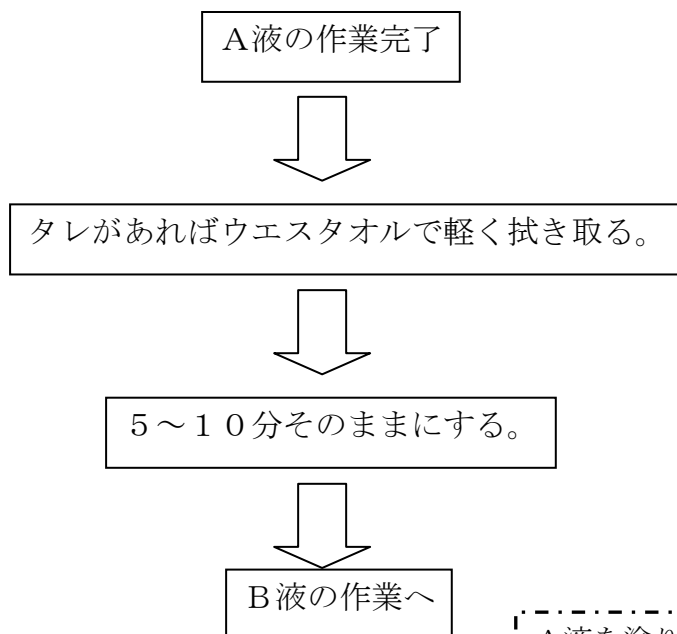


<ポイント>
スイッチパネル、ドア枠などの細かい所はブラシでこすり落とす。



<ポイント>
スイッチの廻り、家電品の廻り、冷蔵庫の裏壁、エアコンの跡、照明器具の跡など
黒ずみが目立つ所は、白パッドにA液をつけ、しっかり絞ってから円を描くように
余力を入れず「まぶす」感じでこすり、ウエスで拭き取る。

※一箇所の汚れにこだわってゴシゴシこするとその部分だけ目立ってしまうので「まぶし、
ぼかし」をして下さい。
※A液を2回塗ればさらに効果的。



■一箇所だけこすった部分が目立つ
ようであれば、その面全体を、白パッ
トにA液（フェントン）をつけて固く
絞りこすり洗いをし、仕上げにシャン
パーにA液（フェントン）を染み込
ませて、万遍なくこすりつけ「まぶし、
ぼかし」をして下さい。

※この時ブラシを使用しないで下さい。

■ビニールクロスが熱で焼けて（熱ヤ
ケ）茶褐色になったものは元に戻りま
せん。

A液を塗り終わったら、余ったA液は排水口に捨て
て下さい。余った溶液をボトルに戻さないで下さい。

クリーニングの手順

第二の工程

B液 バイオタントの塗り方

～プロ並みに仕上げる方法～



①オケを水道水ですすいでからB液を注ぎ入れる。



②泡が出るまでよくかき混ぜて、シャンプーに染み込ませる。



③シャンプーを縦にして固く絞る。(液ダレしなくなるまでしっかりと)



<注意！>

移動の時はタオルを当てる（液ダレをふせぐため）



<ポイント>

伸縮ポールを使うと塗りやすい。

<ポイント>

天井に塗る際は下から全体を見上げながら塗り残しがないようにする。

④シャンプーに浸したB液をビニールクロス全体に縦・横・斜めにゴシゴシこすりつけてしっかり塗り込む。
汚れが目につく箇所は白パッドにB液をつけながらゴシゴシこすり洗いをする。



<ポイント>

天井のスミの汚れは白パッドでこすり落とす。



<ポイント>

スイッチパネル、ドア枠などの細かい所はブラシでこすり落とす。

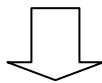
※一箇所の汚れにこだわってゴシゴシこするとその部分だけ目立ってしまうので「まぶし、ぼかし」をして下さい。

※B液を2回塗ればさらに効果的。

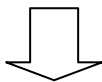
■一箇所だけこすった部分が目立つようであれば、その面の全体を白パットにB液（バイオタント）をつけて固く絞りこすり洗いをしてから、仕上げにシャンパーにB液（バイオタント）を染み込ませて、万遍なくこすりつけて「まぶし、ぼかし」をして下さい。

※この時ブラシを使用しないで下さい。

B液の作業完了



ウエスタオルなどで、全体をザーッと拭き取る。



クリーニング作業完了

天候にもよりますが1時間程で乾きます。乾いたことを確認してから、家具などを移動して下さい。

創研株式会社

〒168-0062

東京都杉並区方南 1-1-7

TEL : 03-5376-2767 FAX : 03-3327-8461

URL : <http://www.soken-bio.co.jp>

E-Mail : info@soken-bio.co.jp

＜使用にあたっての注意事項＞

- (1) 第1工程 A液（フェントン）と第2工程 B液（バイオタント）を順序よく使用して下さい。
- (2) 使用する時は手袋、帽子、マスク、保護メガネを着用して下さい。
室内の窓を開けて、風通しを良くしてから作業を行なって下さい。
- (3) 溶液の容器は床に直接置かないで、ビニール等を敷いた上に置いて下さい。
- (4) 一度使用したA液、B液を容器に戻さないで下さい。
- (5) 使用後は必ず容器のふたをきちんと閉めて下さい。
- (6) 他の洗剤と混合したり、A液とB液を混合しないで下さい。
また、市販の洗剤と併用して使用しないで下さい。
- (7) 保管する時は直射日光を避け、高温な場所で保管しないで下さい。
- (8) 万一、飲み込んだ場合は水を飲ませる等の処置をし、直ちに医師の診断を受けて下さい。
- (9) 万一、目に直接入った場合は、すぐに水洗し直ちに医師の診断を受けて下さい。
- (10) 手指、皮膚に異常があった時はすぐに作業を中止し、水洗いをした後、直ちに医師の診断を受けて下さい。
- (11) その他異常があった時は作業を中止し、必要な処置をして下さい。
- (12) その他一般的な洗剤の使用上の注意を守って下さい。

創研株式会社

〒168-0062 東京都杉並区方南 1-1-7

広川ビル1階

TEL 03-5376-2767/FAX 03-3327-8461

HP <http://www.soken-bio.co.jp>